

着任のご挨拶

薬剤科長 團 優子

4月1日付けで兵庫県立姫路循環器病センターから異動してまいりました。前任施設では、外科、放射線科、心臓血管外科等の患者さんの薬物療法に関わっておりました。薬剤師としての臨床経験はちょうど丸20年になります。実は、粒子線医療センターへの赴任は2年ぶり2度目で懐かしさを感じながらも、前回とは異なる立場での赴任にまた気持ちを新たにパワーアップして粒子線治療に携わっていかれたらと思っています。

薬剤科では、「粒子線治療を受ける全ての患者様に安全・安心な薬物療法支援を行う」を基本方針に掲げ、粒子線治療を安全に予定通り最後まで受けていただくことを薬の面からサポートするために、

- ① 粒子線治療のターゲット疾患に対する薬物療法支援
 - ② 粒子線治療のターゲット以外の疾患や疼痛に対する薬物療法支援
 - ③ 粒子線治療による有害事象への対応
 - ④ 粒子線と併用される抗がん剤治療への対応
 - ⑤ 粒子線治療をよりよく行うための対応(体位を保つための疼痛管理、便秘・胃腸内ガスの対応)等
- について医師、看護師等と連携し、日々の業務を行っています。

具体的には、

- ・アレルギー歴や副作用歴、健康食品等の確認、薬剤管理状況等の情報収集
- ・持参薬確認と服薬計画の立案
- ・患者状態に応じた薬剤の提案
- ・薬効・副作用の説明とモニタリング

- ・抗がん剤の無菌調製
- ・各種医療チーム(緩和ケア、感染対策、栄養管理、口腔ケア、皮膚ケア、アイケア)への参加
- ・医薬品管理
- ・スタッフへの最新の医薬品情報の提供

など多岐にわたる業務を行っています。

また、当センターでは遠方から来られる方も多く、患者さんは粒子線治療終了後、各地域の医療機関に戻って療養を継続されます。そのため、粒子線治療終了後も紹介元の医療機関を受診される際や調剤薬局での薬剤交付時に困ることのないように、お薬手帳や薬剤管理サマリーを活用し、当センターで使用した薬剤や持参薬の変更等の情報を提供しています。

現在、薬剤科の職員は、常勤薬剤師2名、事務員1名と少数でこれらの幅広い業務を行っており、1つの業務をやっている間に別の業務が発生するというこもしばしばで、毎日があっという間に過ぎていきます。そのような中でも1人1人の患者さんにしっかり向き合い、患者さんがよりよい治療を受けられるよう日々の業務に取り組んでいます。

近年は、高齢者や進行がんの患者さんの増加に伴い、既往症への対応、全身管理、疼痛管理を必要とする症例が多くなっています。また、粒子線治療を受けられる患者さんが抗がん剤を併用されるケースも増えています。このように、薬物療法は多様化し、より複雑になってきており、私達薬剤師も安全で適切な薬物療法を実践するために、常に知識と経験をアップデートしていかなければなりません。

高度化、複雑化する医療において、適切な薬物療法の実現に貢献できるよう薬剤師として自己研鑽に励みつつ、後進の育成にも力を入れ、薬剤科全体のレベルアップを図っていきたくと思います。

